

4種混合ワクチン「テトラビック皮下注シリンジ」に関する一部ロット製品の抗体検査及び追加接種について（お知らせ）

令和元年8月2日付けで、厚生労働省から4種混合ワクチンの自主回収への対応について連絡がありました。

該当のワクチンは、阪大微生物病研究会が製造販売している、4種混合ワクチンの一部のロット製品です。

自主回収されたワクチン

製造番号		有効期限	製造番号		有効期限
4K23	4K23A	2019/6/8	4K24	4K24A	2019/8/9
	4K23B	2019/6/9		4K24B	2019/8/10
	4K23C	2019/6/10		4K24C	2019/8/11

自主回収となった理由は、有効成分のうちポリオウイルス（1型・2型・3型）の1つである3型の有効成分量が有効期間内に承認規格を下回ったためです。

今回回収している製品と同等のワクチンを使用した場合でも、臨床試験において、十分なポリオウイルス（3型）に対する抗体を獲得することが確認されています。また、安全性に影響があったという情報はありません。

回収されたワクチンを接種された方で、有効性に不安を感じ、抗体検査を希望される方は、阪大微生物病研究会が検査費用を負担し抗体検査を実施します。ロット番号は、母子手帳「予防接種の記録」からご確認ください。なお、問い合わせ先は阪大微生物病研究会になります。

問い合わせ先 阪大微生物病研究会

フリーダイヤル 0120-280-980

（営業日の9：00～17：30）